

日本の文化を守りたい

かどかわ げんよし

角川 源義

1917 (大正6) 年 10月9日—1975 (昭和50) 年 10月27日



そうぎょうしゃ
角川書店の創業者

こくぶんがく はくしごう しゅとく
国文学の博士号を取得

はいじん かつやく
俳人としても活躍

気の弱い文学少年

かどかわげんよし なかにいかわぐんひがしみずほし まち げん
角川源義は中新川郡東水橋町(現富山市)で、裕福な米穀商の家の末っ子として生まれました。甘えん坊で、小

学校入学まで母親が添い寝してました。県立神通中学校(現県立富山中部高校)在学中から俳句を作り始め、国語や漢文が得意でした。弁論部でも活躍し、学校代表にもなりました。

出版で日本文化を守る

みんぞくがくしゃ おりくちしの ぶ ちよしよ じんづう
民俗学者の折口信夫の著書を神通中学校時代に読んだ源義は1937(昭和12)年、折口の下で学びたいと国学院大学予科に入学しました。折口から民俗学*や国文学を学び、東京の中学校で教師をしながら日本文化について研究しました。

1945(昭和20)年に終戦を迎え、日本人の文化や価値観、美しい日本

語などが否定される風潮に疑問を感じた源義は、「日本の文化を守りたい」と決意。角川書店という出版社を設立しました。質の高い本のほか、値段の安い文庫本も出版し、多くの読者を得ました。

一方で源義は国文学の研究の成果を発表し、文学博士号を取得。少年時代から親しんだ俳句にも精を出し、多くの句集を刊行して高い評価を受けています。

夢や志をかなえたポイント

- 尊敬する先生に直接学ぶ
- 日本の文化や価値観を守る
- 得意なことをずっと続ける



旧水橋郷土資料館前に建てられた源義の句碑(富山市水橋館町)

* 民俗学【みんぞくがく】 古くからの庶民の文化について研究し、現在の文化を説明しようとする学問です。